

宜野湾高校の生徒達へ（57）

2020.11.18

11月11日に「総合的な探究の時間(総探)」が行われた。目標は「アクションの重要性を理解し、自らのアクションを明確にする」。これまでの総探の作業は、学校内での活動だった。これからは、地域に飛び出していくことになる。皆さんは飛び出すことができるか？ 飛び出すためには、かなりの勇気が必要だ。ここで、10月20日の総探を思い出してみよう！ 『宜野湾高校の生徒達へ G1S(50)』の皆さんの感想の中に「90%計画通りには行かないからまずはチャレンジすることが大切だ！」があったはずだ。失敗を通して、人は多くのことを学び、成長していく。前置きが長くなったが、皆さんの振り返りを紹介しよう！

「本時の総探を取り組んでの感想」については、

- ◎プロジェクトを真剣にやり、学校生活これからの進路で生かしたい。
- ◎マイプロジェクトについてどんどん進んでいってます。
- ◎テーマについて調べたあとどうやってアクションしたらいいかを学べた。
- ◎話を聞きたい団体へ問い合わせするまで進められた。
- ◎一歩目のアクションを踏み出すことができた。だから、あとはアポとかをとってから次のアクションに進みたい。
- ◎今回の総探でまだ専門の方に聞きたいことが出てきたので、アポを取ろうと思いました。
- ◎アポの取り方とか、相手の時間をいただいていることを忘れずに丁寧にしないとダメだと改めて理解できたからよかったです。他のグループのテーマも聞けたからよかったです。
- ◎先生と一緒に取り組みながら、メンバーと話し合いをすることで、より質の高い準備ができて、とても良かったと思います。
- ◎高校生にこんなことができるかなと思っていたのですが、2年生の話聞いて自分でもできるかもと自信を持ってました。



「今日の段階で、どこで、どこの誰と繋がってアクションしようと考えているか」については、

- ★サンゴの養殖に携わっている金城さんに話を聞きに行く。
- ★宜野湾市役所・宜野湾市教育委員会・エンカレッジに話を聞きに行く。
- ★基地に近い家の人や広い世代のいろいろな方に聞く。
- ★沖縄県観光事業協同組合に話を聞きたい。
- ★エコ容器を作っている企業にどのような材料を使って作っているのか質問する。 ★子供食堂の人にアポをとってインタビュー。
- ★母親から保育園に繋がってお話を聞く。
- ★保育園や市役所に行き、子育て支援で行っていることや保護者からの要求を聞く。
- ★NPO 法人おきにゃわんネットワークの宮城さんに繋がって団体の活動内容のことを詳しく聞いたり、自分たちが考えているプロジェクトに関するアドバイスを聞きたい。
- ★宜野湾市で方言の取り組みをしている所を見つけたので、そこにアポをとってインタビューする。
- ★介護福祉士の人と高齢者の人のコロナの中での生活などを知り、少しでも過ごしやすくする。
- ★Rainbow connection を運営されている恩河祐美さんと繋がって意見を伺う。
- ★給食センターの栄養士さん会にアポイントを取って蓮根や田芋の特徴や、また商品にはどのような味を一番活かしているのかを聞く。また、沖縄国際大学で一昨年～去年にかけて田芋のスイーツを開発していたチームがあったので、どのように進めていったのかを聞いてみたい。
- ◎誰かと繋がる環境が整っていないので、家で質疑応答をスムーズに進めるくらいの情報量を集める。



これまで皆さんの総探の取組を『G1S(50)(54)(56)』で取り上げた。それらと今回の皆さんの感想を並べて比べてみると、次のような変化に気づいた。

『G1S(50)』では、テーマ設定に苦しんでいる生徒が多いが、『G1S(54)』では、おぼろげながらも各自のテーマが見え始め、具体的なテーマを設定し、アクションプラン作成へと進み「自走」し始める先頭集団も現れた。そして、今回の総探では、先頭集団に肉迫する第二集団の数が増え、それに続く第三集団も第二集団から離されずにいる。その様子を見ると、宜野湾高校という川が、次第に川幅を広げ、勢いよく流れ始めているようにも見える。

沖縄県立宜野湾高等学校長 津留一郎